

今回、中央大学で行われた秋のスポーツ大会のミニサッカー部門で、優勝しました。ふりかえてみると優勝への道のりは、長く険しいものでした。今回の大会はキャプテンの松田広大君を中心に上原けんたろう、荻野駿、松本大樹、加賀ゆうた、桜井純一、前谷直紀、というサークル仲間がガンナーズというチームを作りました。松田キャプテンには大会への応募をしてもらったり、日程の連絡をもらったりと、いろいろやってもらって本当に感謝しています。

大会1日目は難なく突破したものの、雨により2日目が延期となり、次の週にメンバーの予定があいているか、必要なメンバー6人がそろうかが不安でした。そして一週間がたち、大会当日集まったのはよかったものの、6人というメンバーは控えの選手がいないということでもあり、1人でも欠けられない状態で1日5試合を

文学部社会学科2年 前谷直紀

戦わなければなりません。1, 2試合目は失点を許したもののなんなく勝ち上がることができましたが、3試合目くらいから交代することなく戦い続けたメンバーには疲れが見え始め後半になると動きが止まってくるという状態でした。特に準決勝の稲中サッカー部戦は死闘を繰り広げました。稲中サッカー部というチームにはストライカー今井けんご選手がいて、楽に勝てる相手ではないと感じながら試合に臨みました。前半開始早々1点を決められ、後半開始直後に相手のストライカーの今井けんご選手にミドルレンジからめがさめるような鋭いシュートを決められ2点差となりました。そこから動かない体に鞭をうつようにがむしゃらに走り、何とか同点に追いつくことができ、そして試合終了直前にキャプテン松田広大君が劇的な決勝点を決めて決勝進出を決めることができました。決勝戦は両チームとも満身創痍でので